

プログラムおよび参加者一覧

防衛研究所創立 50 周年記念・安全保障国際シンポジウム
「軍事力の非伝統的役割と東アジアの安全保障」

プログラム

1月21日(火)

オープニング・セッション

- | | |
|-------------|---|
| 10:30-10:40 | 開会挨拶
柳澤 協二：防衛研究所所長 |
| 10:40-11:00 | 開会に寄せて
赤城 徳彦：防衛庁副長官 |
| 11:00-11:10 | 議長からの趣旨説明
高木 誠一郎：防衛研究所第2研究部長 |
| 11:10-12:10 | 基調講演「21世紀の軍事力の新たな役割 アジア太平洋地域を
巡る問題と展望」
フィデル・V・ラモス：フィリピン共和国元大統領、ラモス平和・
開発基金代表 |
| 12:10-14:00 | 休憩 |
| 14:00-15:00 | 特別講演「21世紀の軍事力の新たな役割 日本の視点から」
船橋 洋一：朝日新聞社特別編集委員 |
| 15:00-15:20 | 休憩 |

セッション1

- | | |
|-------------|---|
| 15:20-15:50 | 「多様化する武力紛争と軍事力の新たな役割」
発表(1)「9.11同時多発テロ以降の国際政治と安全保障の現状」
王 逸舟：中国社会科学院・世界経済・政治研究所副所長 |
|-------------|---|

- 15:50-16:20 発表(2)「軍隊の新たな役割と米国 - 同盟協力の視点から」
佐藤 丙午：防衛研究所第2研究部第1研究室主任研究官
- 16:20-16:40 コメント(1) 土山 實男：青山学院大学教授
- 16:40-17:00 休憩
- 17:00-17:20 コメントへの回答
- 17:20-17:50 フロアからの質問

1月22日 水

セッション2

「軍事力の新たな役割：東アジアの経験と教訓」

- 09:30-10:00 発表(3)「カンボディアPKOにおける経験と教訓 日本の立場から」
渡邊 隆：陸上幕僚監部装備部装備計画課長(陸将補)
- 10:00-10:30 発表(4)「東ティモールにおけるオーストラリアの経験 - 軍事上の教訓と安全保障上のジレンマ」
ジェイムス・コットン：オーストラリア・ニューサウスウェールズ大学教授
- 10:30-10:50 コメント(2) 草野 厚：慶応義塾大学教授
- 10:50-11:10 休憩
- 11:10-11:30 コメントへの回答
- 11:30-12:00 フロアからの質問
- 12:00-13:30 休憩

セッション3	「東アジアの地域協力に向けて」
13:30-14:00	発表(5)「紛争解決支援と軍事力の役割」 高井 晋：防衛研究所図書館長
14:00-14:30	発表(6)「アジア太平洋における地域主義、制度的変革および新たな軍事的役割」 タン・シーセン：シンガポール・南洋工科大学国防戦略研究所助教授
14:30-14:50	コメント(3) 神谷 万丈：防衛大学校助教授
14:50-15:10	休憩
15:10-15:30	コメントへの回答
15:30-16:00	フロアからの質問
総合討議	「軍事力の非伝統的役割と東アジアの安全保障」
16:00-16:50	総合討議、及び、議長総括
16:50-17:00	閉会挨拶 鈴木 陽：防衛研究所副所長

参加者一覧

議長

高木 誠一郎

現職：防衛庁防衛研究所第2研究部長

略歴：東京大学卒業、同大学院修了（修士）、スタンフォード大学大学院修了（博士）
スタンフォード大学講師、埼玉大学助教授、同大学院教授、政策研究大学院
大学教授を経て現職

著書：『中国をめぐる国際関係（共著）』、『脱冷戦期の中国外交とアジア太平洋（編
著）』、『日米中安全保障協力を目指して（共編著）』、『米国と中国・台湾問題』
*In Search of a Sustainable Equal Partnership: Japan-China Relations in the
Post-Cold Era* ほか

基調講演

フィデル・V・ラモス

現職：フィリピン共和国元大統領 ラモス平和・開発基金代表

略歴：米国陸軍士官学校卒、イリノイ大学、比国防大学、アテネオ・デ・マニラ大
学修了

EDSA 革命における軍事部門担当、フィリピン軍参謀本部長、国防長官兼国
家災害調整会議議長、フィリピン共和国大統領を歴任

特別講演

船橋 洋一

現職：朝日新聞社特別編集委員

略歴：東京大学卒業、博士（慶応義塾大学）

朝日新聞入社後、ハーバード大学ニーマンフェロー、北京支局員、ワシント
ン支局員、米国経済研究所客員研究員、アメリカ総局長などを経て現職

著書：『冷戦後』、『日本の対外構想』、『同盟漂流』ほか

報告者（発表順）

王 逸舟

現職：中国社会科学院世界経済・政治研究所副所長

略歴：中国社会科学院大学院修了（博士）

ハンガリー科学アカデミー、ハーバード大学、台湾淡江大学客員研究員

著書：*Hungary Road, On Contemporary International Politics, International Politics in the West: History and Theories, Global Politics and China's Foreign Policy* ほか

佐藤 丙午

現職：防衛研究所第2研究部第1研究室主任研究官

略歴：筑波大学卒業、ジョージ・ワシントン大学大学院修了（修士）、一橋大学大学院修了（博士）

防衛研究所助手を経て現職

著書：「2000年大統領選挙と新政権の外交・安全保障政策の展望 - W.ブッシュ政権の課題 - 」「アメリカの経済安全保障政策と武器貿易 - DTSI と同盟国の防衛協力 - 」ほか

渡邊 隆

現職：陸上幕僚監部装備部装備計画課長、陸将補

略歴：防衛大学校卒業、指揮幕僚課程修了、米国陸軍戦略大学卒業

第7施設大隊中隊長、福岡地方連絡部、陸上幕僚監部装備部装備計画課、防衛庁長官官房総務課（長官副官）、第1次カンボディア派遣施設大隊長、幹部学校戦略研究員、陸上幕僚監部防衛部運用課（運用1班長）、第12施設群長兼岩見沢駐屯地司令などを経て現職

ジェームス・コットン

現職：ニューサウスウェールズ大学オーストラリア軍事アカデミー政治学教授、オーストラリア防衛研究センター所長代理

略歴：フリントラス大学、ダーラム大学卒業、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（LSE）大学院修了（Ph.D.）

LSE 国際関係学部百周年記念客員教授、LSE アジア研究センター参与

著書：*East Timor and Australia, The National Interest in a Global Era: Australia in World Affairs 1996-2000* ほか

高井 晉

現職：防衛庁防衛研究所図書館長

略歴：青山学院大学卒業、同大学院修士課程（修士）および博士課程修了
防衛研究所助手、所員、室長を経て現職。ロンドン大学キングズカレッジ研究
員、ピアソン・カナダPKOセンター客員研究員

著書：『国連PKOと平和協力法』のほかPKOおよびOPKに関する共著、論文多数

タン・シーセン

現職：シンガポール・南洋工科大学国防戦略研究所助教授

略歴：カナダ・マニトバ大学卒業、同大学院修了（修士）、アリゾナ州立大学大学院
修了（博士）

アメリカン大学講師兼大学牧師、シンガポール国際関係研究所客員研究員等
を経て現職。CSCAシンガポール委員会委員

著書：国際関係理論、アジア安全保障、米外交政策、旧約神学の分野で著作

コメンテーター（登壇順）

土山 實男

現職：青山学院大学国際政治経済学部教授

略歴：青山学院大学卒業、ジョージ・ワシントン大学大学院修了（修士）、メリーラ
ンド州立大学大学院修了（博士）

青山学院大学勤務（1984年より）、1993年より現職。ハーバード大学オーリ
ン戦略研究所客員研究員、平和・安全保障研究所理事、国際安全保障学会理
事

著書：『日米関係キーワード』、『グローバル・ガバナンス - 政府なき秩序の模索』、
Japanese Foreign Policy Today ほか

草野 厚

現職：慶應義塾大学総合政策学部教授兼政策・メディア研究科委員

略歴：慶應義塾大学卒。上智大学大学院修士課程修了（修士）、東京大学大学院博士
課程修了（博士）

プリンストン大学大学院客員研究員を経て東京工業大学助教授。1992年より
現職

著書：『日米安保とはなにか』ほか

神谷 万丈

現職：防衛大学校総合安全保障研究科、国際関係学科助教授

略歴：東京大学卒。コロンビア大学大学院修了（修士）

防衛大学校助手、講師を経て現職

著書：『新版安全保障学入門』（共編著）、『国家戦略序説』（編集、共著）ほか

（敬称略）

NIDS
防衛研究所創立 50 周年記念 安全保障国際シンポジウム報告書

軍事力の非伝統的役割と東アジアの安全保障

発行日 平成 15 年 10 月 31 日

編集・発行 防衛庁防衛研究所

〒153-8648 東京都目黒区中目黒 2 - 2 - 1

電話 03 (3713) 5912

ISBN 4-939034-19-4

© 無断転載を禁ず